

慣用句シリーズ

ここでは毎月、覚えておきたい慣用句・ことわざを取り上げます。みなさんはどのくらい知っていますか？

慣用句

『手を打つ』

意味:うまくいくように、前もって用意しておくこと。

ひとこと:この辺で手を打つという言い方をした時は、決着をつけるという意味になる。

使い方:火災が広がらないように、早めに手を打っておこう。

『手を出す』

意味:自分からけんかをしかけたり、関係を持つことをいう。

ひとこと:類義語に“手を染める”対義語に“手を切る”“手を引く”がある。

使い方:いろいろな趣味に手を出したので、忙しい。

ことわざ

『善(ぜん)は急げ』

意味:善いことは、思いついたらすぐにやりなさいという意味。

ひとこと:類義語として“思い立ったら吉日”対義語として“急がば回れ”がある。

使い方:善は急げだ。さっそく募金しに行こう！

『千里の道も一歩から』

意味:どんな大変なことも、小さな積み重ねからできているものだという意味。

ひとこと:類義語として“ちりも積もれば山となる”がある。

使い方:千里の道も一歩からというから、まず英語をマスターするにはABCから覚えよう。